

安全データシート

ページ: 1/17

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 27. 03. 2025

製品: Motive EC / モーティブ乳剤

バージョン: 11.0

(30542940/SDS_CPA_JP/JA)

印刷日: 28.03.2025

1. 化学品及び会社情報

品名:

Motive EC

モーティブ乳剤

用途: 農薬製品, 除草剤

供給者の会社情報、住所及び電話番号:

BASF ジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号

0V0L 日本橋ビル 3階

電話番号: +81-3-5290-3000

FAX番号: +81-3-5290-3333

緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245

+49 180 2273-112 (International emergency number)

2. 危険有害性の要約

【化学品のGHS分類】:

誤えん有害性: 区分1

急性毒性: 区分4 (経口)

皮膚腐食性/刺激性: 区分2

皮膚感作性: 区分1B

生殖毒性: 区分2 (胎児)

水生環境有害性 短期(急性): 区分1

水生環境有害性 長期(慢性): 区分1

【GHSラベル要素】:

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

H315	皮膚刺激。
H302	飲み込むと有害。
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H304	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
H361	胎児への悪影響のおそれの疑い。
H400	水生生物に非常に強い毒性。
H410	長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き:

P101	医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルを持っていくこと。
P102	子供の手の届かないところに置くこと。
P103	使用前にラベルをよく読むこと。

注意書き（安全対策）:

P280	保護手袋と保護衣と保護眼鏡または保護面を着用すること。
P261	ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P270	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P264	取扱い後は汚染された部位をよく洗うこと。

注意書き（応急措置）:

P301 + P310	飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
P333 + P313	皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
P330	口をすすぐこと。
P391	漏出物を回収すること。
P308 + P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぎ、そして再使用する場合には洗濯をすること。
P331	無理に吐かせないこと。

注意書き（保管）:

P405	施錠して保管すること。
------	-------------

注意書き（廃棄）:

P501 適切に分別した内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。

GHS分類に関係しない又は GHS で扱われない他の危険有害性:

12章のPBT（難分解性、生物蓄積性、毒性を有する物質）とvPvB（難分解性と生物蓄積性が極めて高い物質）の評価結果を参照。

この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS分類の結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与する可能性があるGHS分類以外の危険性に関するものである。

3. 組成及び成分情報

化学特性

化学物質・混合物の区別: 混合物

農薬製品, 除草剤, 乳剤

GHS分類に寄与する成分

ペンディメタリン

含有量 (W/W): 23.1 %

CAS番号: 40487-42-1

急性毒性: 区分 5 (経口)

生殖毒性: 区分 2 (胎児)

水生環境有害性 短期(急性): 区分 1

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 1

M-ファクター急性: 100

M-ファクター慢性: 10

ジメテナミド-P

含有量 (W/W): 19.7 %

CAS番号: 163515-14-8

急性毒性: 区分 4 (経口)

皮膚感作性: 区分 1

水生環境有害性 短期(急性): 区分 1

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 1

M-ファクター急性: 10

M-ファクター慢性: 10

ソルベントナフサ

含有量 (W/W): 30 %

CAS番号: 64742-94-5

化審法: (3)-7

労働安全衛生法: (3)-7

誤えん有害性: 区分 1

水生環境有害性 短期(急性): 区分 2

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 2

α -ヒドロ- ω -[トリス(1-フェニルエチル)フェノキシ]ポリ(オキシエチレン)

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 27. 03. 2025

製品: Motive EC / モーティブ乳剤

バージョン: 11.0

(30542940/SDS_CPA_JP/JA)

印刷日: 28.03.2025

含有量 (W/W): < 10 %

CAS番号: 99734-09-5

化審法: (7)-170

労働安全衛生法: (7)-170

水生環境有害性 短期(急性): 区分 3

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 3

急性毒性: 区分 5 (経口)

4-sec-アルキル (C10~13) ベンゼンスルホン酸カルシウム塩

含有量 (W/W): < 5 %

CAS番号: 84989-14-0

化審法: (3)-1949

労働安全衛生法: (3)-1949

急性毒性: 区分 5 (経口)

急性毒性: 区分 5 (経皮)

皮膚腐食性/刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分 1

水生環境有害性 短期(急性): 区分 2

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 3

2-エチルヘキサン-1-オール

含有量 (W/W): < 5 %

CAS番号: 104-76-7

化審法: (2)-217

労働安全衛生法: (2)-217

引火性液体: 区分 4

急性毒性: 区分 5 (経口)

急性毒性: 区分 4 (吸入-ミスト)

皮膚腐食性/刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分 2A

特定標的臓器毒性 (単回暴露): 区分 3 (呼吸器系を刺激する)

水生環境有害性 短期(急性): 区分 3

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 3

2-メチルナフタレン

含有量 (W/W): $\geq 5\%$ - $< 15\%$

CAS番号: 91-57-6

化審法: (4)-80

労働安全衛生法: (4)-80

急性毒性: 区分 4 (経口)

水生環境有害性 短期(急性): 区分 2

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 2

1-メチルナフタレン

含有量 (W/W): $\geq 1\%$ - $\leq 10\%$

CAS番号: 90-12-0

化審法: (4)-80

労働安全衛生法: (4)-80

誤えん有害性: 区分 1

急性毒性: 区分 4 (経口)

水生環境有害性 短期(急性): 区分 2

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 2

ナフタレン

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 27. 03. 2025

製品: Motive EC / モーティブ乳剤

バージョン: 11.0

(30542940/SDS_CPA_JP/JA)

印刷日: 28.03.2025

含有量 (W/W): $\geq 0.1\%$ - $\leq 1\%$

CAS番号: 91-20-3

化審法: (4)-311

労働安全衛生法: (4)-311

可燃性固体: 区分 2

急性毒性: 区分 4 (経口)

発がん性: 区分 2

水生環境有害性 短期 (急性): 区分 1

水生環境有害性 長期 (慢性): 区分 1

M-ファクター急性: 1

M-ファクター慢性: 1

4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:

救急隊員は自身の安全に注意を払うこと。患者が意識を失いそうになったら、横向き（回復体位）で安静に寝かせ、搬送する。汚れた衣服は直ちに置き替える。

[吸入した場合]:

安静にし、新鮮な空気のある場所へ移動させ、医師の診察を受けること。

[皮膚に付着した場合]:

直ちに水と石鹸で十分に洗い流し、医師の診察を受ける。

[眼に入った場合]:

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:

直ちに口をすすぎ、200-300mlの水を飲み、医師の診察を受ける。誤嚥（飲食物や唾液が誤って気管に入って しまうこと）のおそれがあるため、吐かせないこと。

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: 情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。、（他の）症状や影響については現時点で知られていない。

処置: 症状に応じて処置（洗浄・機能回復）を講じる。特に解毒剤なし。

5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

噴霧水、泡、粉末、二酸化炭素

[火災時の特有の危険有害性]:

一酸化炭素、二酸化炭素、塩化水素、窒素酸化物、硫黄酸化物、ハロゲン化合物

火災の場合、前述の物質／物質グループが放出される可能性がある。

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:

自給式呼吸器および耐薬品性保護衣を着用すること。

[追加情報]:

汚染された消火用水を別途回収すること。下水または廃水処理施設に流さないこと。汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。火災および/または爆発の場合に、ヒュームを吸入しないこと。火に暴露された容器は噴霧水で冷却した状態に保つこと。

6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:

蒸気／スプレーを吸入しないこと。保護具を着用する。皮膚、眼、衣服への接触を避ける。

[環境に対する注意事項]:

土壌中に放出しないこと。排水溝等に流出させない。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:

少量の場合: 吸着剤に吸収させ回収し処分する（例: 砂、おが屑、珪藻土）。

大量の場合: せき止める。ポンプで容器に回収する。

法令に従って吸着剤を廃棄すること。廃棄物を適切な容器に集めること。容器は、ラベルの貼付および密封が可能な容器とする。水および洗剤を用いて、汚染された床および物質を完全に浄化すること。環境法令を遵守すること。適切な保護装置をつけること。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

適切に保管し取り扱えば、特別な対策は必要なし。作業場の換気を十分に行う。使用時には飲食または喫煙をしないこと。休憩前とシフトの終わりに手や顔を洗うこと。

安全取扱注意事項:

蒸気は空気中で爆発性の混合物を形成する可能性がある。静電気防止対策をとる。発火源を近づけない。消火器常備のこと。

[保管]

食品、動物飼料から隔離する。

保管条件に関する追加情報: 熱から離して保管すること。直射日光を避ける。

保管安定性:

保管期間: 24 月

次の温度以下にならないように保護すること: -5°C

長期にわたり安定貯蔵温度以下で保管すると、変質することがある。

次の温度以上にならないように保護すること: 40°C

もし、物質/製品を指示温度以上に長期間保管すると製品特性が変化することがある。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

ビフェニル, 92-52-4;

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 0.2 ppm (ACGIHTLV)

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 3 mg/m³ (濃度基準値 (安衛則 第577条の2第2項))

施行日: 2024年4月1日

2-エチルヘキサン-1-オール, 104-76-7;

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 5.3 mg/m³ ; 1 ppm (日本産業衛生学会 許容濃度)

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 5 ppm (ACGIHTLV)

ソルベントナフサ, 64742-94-5;

経皮吸収の表示 (ACGIHTLV), エアロゾルでない。

として測定された: 総炭化水素蒸気

経皮吸収の危険性

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 200 mg/m³ (ACGIHTLV), エアロゾルでない。

として測定された: 総炭化水素蒸気

無視できるエアロゾル暴露条件に限定された用途。

1-メチルナフタレン, 90-12-0;

(日本産業衛生学会 許容濃度)

本規制の対象であるが、データ値なし。詳細については、規制を参照のこと。

経皮吸収の表示 (ACGIHTLV)

経皮吸収の危険性

(ACGIHTLV)

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 0.05 ppm (ACGIHTLV)

2-メチルナフタレン, 91-57-6;

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 0.5 ppm (ACGIHTLV)

経皮吸収の表示 (ACGIHTLV)

本物質は皮膚を通して吸収される。

(日本産業衛生学会 許容濃度)

本規制の対象であるが、データ値なし。詳細については、規制を参照のこと。

経皮吸収の表示 (ACGIHTLV)

経皮吸収の危険性

(ACGIHTLV)

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 0.05 ppm (ACGIHTLV)

【保護具】

[呼吸用保護具]:

低濃度において、または短時間有効な適切な呼吸保護具：有機、無機、酸性無機、アルカリ性化合物及び有毒粒子のガス/蒸気用複合フィルターEN 14387タイプABEK-P3

[手の保護具]:

長時間にわたる直接接触でも問題ない素材でできた耐薬品性保護手袋（EN ISO 374-1）（保護指針6に準ずることが望ましい。EN ISO 374-1によると、透過時間は480分以上であること）：ニトリルゴム（0.4 mm）、クロロプレンゴム（0.5 mm）、ブチルゴム（0.7 mm）など。

[眼の保護具]:

サイドシールド付き安全眼鏡（フレームゴーグル）（例 EN 166）

[皮膚及び身体の保護具]:

作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等（飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。）。

[一般的な安全及び衛生対策]:

最終消費者の手に渡る農薬を取り扱う際には、使用説明書の保護具に関する記述を適用すること。上下一体型作業衣の着用が望ましい。食物、飲料および動物用飼料から離して保管すること。作業服は、他の物と分けて保管すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	液体
色:	赤褐色
臭い:	芳香臭
臭いのしきい値:	吸入による健康障害の可能性のために決められていない。
pH:	約 6 – 8 (1 % (m), 20 ° C)
凝固点:	< 0 ° C
沸点範囲:	244 – 292 ° C 情報は溶媒に適用される
引火点:	113 ° C
蒸発率:	(EU指令 92/69/EEC, A. 9)
	適用せず
可燃性 (固体/ガス):	適用せず

爆発下限界:

この製品に関する当社の経験と組成に関する知識の結果、この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。

爆発上限界:

この製品に関する当社の経験と組成に関する知識の結果、この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。

自然発火温度:

365 ° C

(EU指令 92/69/EEC, A. 15)

熱分解:

通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

爆発危険有害事項:

爆発性なし。

火災を引き起こす性質:

火災伝播性はない。

蒸気圧:

< 0.1 kPa

(25 ° C)

情報は溶媒に適用される

密度:

約 1.08 g/cm³

(20 ° C)

相対ガス密度（空気）:

適用せず

水に対する溶解性:

エマルジョンを形成

n - オクタノール/水分配係数（log Pow）:

本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報：ジメテナミド-P

n - オクタノール/水分配係数（log Pow）: 1.89

粘度:

約 28 mPa·s

(20 ° C, 100 1/s)

動粘性率:

約 12 mm²/s

(40 ° C)

その他の情報:

必要に応じ、この章にその他の物理的、化学的パラメーターの情報が記載される。

粒子特性

| 粒度分布:

物質/製品は固体や粒状以外の形状で流通もしくは使用されない。 -

10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:

製品安全データシートの第7項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。

熱分解:

通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

[混触危険物質]:

強酸, 強塩基, 強酸化剤

[危険有害な分解生成物]:

指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

[危険分解物]:

通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

化学安定性:

製品は取扱説明書に従って貯蔵すれば安定である。

反応性:

指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

11. 有害性情報

ばく露経路

急性経口毒性

実験または計算によるデータ:

LD50 (半数致死量) ラット (経口): > 500 – < 2,000 mg/kg (OECDテストガイドライン 423)

急性吸入毒性

LC50 (半数致死濃度) ラット (吸入による): > 5.4 mg/l 4 h (OECDテストガイドライン403)

急性皮膚毒性

LD50 (半数致死量) ラット (経皮): > 5,000 mg/kg (OECDテストガイドライン402)

死亡なし

急性毒性の評価

単回摂取後、中程度の毒性を示す。単回の皮膚付着であれば、実質上毒性はなし。吸入による毒性は実質上なし。

症状

情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。(他の)症状や影響については現時点で知られていない。

刺激性

刺激性作用の評価:

皮膚接触により刺激を生じる。眼刺激性なし。

実験または計算によるデータ:

皮膚腐食性／刺激性 ウサギ: 刺激性あり。(OECDテストガイドライン404)

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 ウサギ: 刺激性なし (OECDテストガイドライン405)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:

皮膚接触により感作の可能性がある。

実験または計算によるデータ:

改定Buehler試験 モルモット: 皮膚感作 (OECDテストガイドライン406)

生殖細胞変異原性

変異原性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。変異原性試験では遺伝毒性の可能性は認められなかった。

発がん性

発がん性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: ペンディメタリン

発がん性の評価:

ラットを用いた長期の実験において、この物質は甲状腺腫瘍を誘発した。この結果は、人に対応しない動物特有のメカニズムによるものである。この物質を餌によって与えたマウスの長期の試験において、発癌性は、観察されなかった。

生殖毒性

生殖毒性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。動物実験の結果から、生殖能力低下は認められなかった。

発生毒性

催奇形性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: ペンディメタリン

催奇形性の評価:

動物実験では、発生毒性/催奇形性の兆候が認められた。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

利用できる情報に基づく、単回ばく露後に予測される特定標的臓器毒性はない。

注意: 本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

反復投与毒性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: ペンディメタリン

反復投与毒性の評価:

動物への反復投与試験の後、物質特有の臓器毒性は、観察されなかった。動物試験における反復曝露の後、適応できる効果が観察された。

記載物質に関する情報: ジメテナミド-P

反復投与毒性の評価:

動物試験における反復曝露の後、適応できる効果が観察された。

記載物質に関する情報: 4-sec-アルキル (C10~13) ベンゼンスルホン酸カルシウム塩

反復投与毒性の評価:

反復投与後にみられる顕著な影響は局所の刺激である。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

誤えん有害性

飲込むこと（嚥下危険）により、肺にも障害を与える可能性がある。

その他該当する毒性情報

誤用により、健康を損なうおそれがある。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生生物に対する毒性の評価:

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

魚類に対する毒性:

LC50（半数致死濃度）(96 h) 1.06 mg/l, ニジマス（学名: *Oncorhynchus mykiss*）(OECDテストガイドライン 203, 止水式)

水生無脊椎動物:

EC50 (48 h) 1.77 mg/l, オオミジンコ（学名: *Daphnia magna*）(OECDテストガイドライン 202-1)

水生植物:

EC50 (72 h) 0. 46 mg/l (成長率), 緑藻 (学名 : Pseudokirchneriella subcapit (OECDテストガイドライン 201)

EC10 (10%影響濃度) (72 h) 0. 03 mg/l (成長率), 緑藻 (学名 : Pseudokirchneriella subcapit (OECDテストガイドライン 201)

EC50 (7 日) 0. 045 mg/l (成長率), Lemna gibba

EC10 (10%影響濃度) (7 日) 0. 008 mg/l (成長率), Lemna gibba

移動性**環境区分間の輸送評価:**

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報 : ペンディメタリン

環境区分間の輸送評価:

水面から大気中へ徐々に揮発する。

土壤曝露後には土壤の固形粒子に吸着する可能性が高いため、地下水の汚染は生じないものと思われる。

記載物質に関する情報 : ジメテナミド-P

環境区分間の輸送評価:

土壤への曝露後、本製品は少量ずつ流出する。分解の程度によるが、多量の水により、土壤深部へと移行し得る。

残留性・分解性**生分解性及び除去率の評価 (水中環境) :**

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報 : ペンディメタリン

生分解性及び除去率の評価 (水中環境) :

容易に生分解性されない (OECD基準による)

記載物質に関する情報 : ジメテナミド-P

生分解性及び除去率の評価 (水中環境) :

容易に生分解性されない (OECD基準による)

生体蓄積性**生体蓄積性の可能性評価:**

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報 : ジメテナミド-P

生体蓄積性の可能性評価:

n-オクタノール／水の分配係数 (log Pow) より、生体への濃縮性はないと考えられる。

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 27. 03. 2025

製品: Motive EC / モーティブ乳剤

バージョン: 11.0

(30542940/SDS_CPA_JP/JA)

印刷日: 28.03.2025

記載物質に関する情報: ペンディメタリン

生体蓄積性:

生物濃縮係数: 3, 300

証拠の重要性に基づき、この組成は、生態蓄積性ではない。

[追加情報]

その他の環境毒性情報:

前処理なしに河川等に流してはならない。

13. 廃棄上の注意

地方自治体の規則に従って、適切な焼却施設に依頼する。

[汚染された容器]:

使用済みの容器は出来る限り空にしてから製品と同様の方法で廃棄すること。

14. 輸送上の注意**国際陸上輸送:**

国連番号もしくはID番号: UN 3082

品名 (国連輸送名): 環境有害性物質 (液体) (他に品名が明示されているものを除く。)
(ペンディメタリン, ジメテナミド-P)

国連分類 (輸送における危険有害性クラス): 9, EHSM

容器等級:

III

環境有害性: 該当

使用者への特別注意事項: 知見なし

海上輸送

IMDG

国連番号もしくはID番号: UN 3082

品名 (国連輸送名):

環境有害性物質 (液体) (他に品名が明示されているものを除く。)
(ペンディメタリン, ジメテナミド-P)

国連分類 (輸送における危険有害性クラス): 9, EHSM

Sea transport

IMDG

UN number or ID number: UN 3082

UN proper shipping name:

ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS
SUBSTANCE,
LIQUID, N.O.S.
(PENDIMETHALIN,
DIMETHENAMID-P)

Transport hazard class(es):

9, EHSM

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 27. 03. 2025

製品: Motive EC / モーティブ乳剤

バージョン: 11.0

(30542940/SDS_CPA_JP/JA)

印刷日: 28.03.2025

容器等級:	III	Packing group:	III
環境有害性:	該当	Environmental hazards:	yes
	海洋汚染物質: 該当		Marine pollutant: YES
使用者への特別注意事項:	EmS: F-A; S-F	Special precautions for user:	EmS: F-A; S-F

航空輸送

IATA/ICAO

国連番号もしくはID番号: UN 3082

品名（国連輸送名）: 環境有害性物質（液体）（他に品名が明示されているものを除く。）（ペンディメタリン, ジメテナミド-P）

国連分類（輸送における危険有害性クラス）: 9, EHSM

容器等級: III
環境有害性: 該当
使用者への特別注意事項: 知見なし**Air transport**

IATA/ICAO

UN number or ID number: UN 3082

UN proper shipping name: ENVIRONMENTAL LY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (PENDIMETHALIN, DIMETHENAMID-P)

Transport hazard class(es): 9, EHSM

Packing group: III
Environmental hazards: yes
Special precautions for user: None known**IMO機器によるバルクの海上輸送****Maritime transport in bulk according to IMO instruments**海上のバルク輸送は目的としない。
指針番号: 171

Maritime transport in bulk is not intended.

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

[追加情報]

5 L以下の正味量を含むパッケージの製品には、次の規定が適用される場合がある。

ADR、RID、ADN：特別規定375；

JT/T617.3；

IMDG：2.10.2.7；

IATA：A197；

TDG：特別規定99（2）；

49CFR：セクション171.4（c）（2）

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 27. 03. 2025

製品: Motive EC / モーティブ乳剤

バージョン: 11.0

(30542940/SDS_CPA_JP/JA)

印刷日: 28.03.2025

15. 適用法令

消防法: 第4類, 第3石油類, 水溶性

ナフタレン
ソルベントナフサ
2-メチルナフタレン
1-メチルナフタレン
労働安全衛生法
通知対象物

ソルベントナフサ
労働安全衛生法
第3種有機溶剤

ペンディメタリン
ジメテナミド-P
労働安全衛生法
通知対象物

ソルベントナフサ
2-メチルナフタレン
1-メチルナフタレン
ペンディメタリン
ジメテナミド-P
労働安全衛生法
表示対象物

ナフタレン
化審法
優先評価化学物質

皮膚等障害化学物質等 (労働安全衛生規則第594条の2)

ジメテナミド-P
2-メチルナフタレン
1-メチルナフタレン

化学物質名又は元素名	化学物質排出把握管理促進法 (2023年4月1日以降)		
	含有量 (%)	分類, 管理番号	政令名称
ペンディメタリン	23.1	第1種指定化学物質, 49	N-(1-エチルプロピル)-2,6-ジニトロ-3,4-キシリジン

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 27. 03. 2025

製品: Motive EC / モーティブ乳剤

バージョン: 11.0

(30542940/SDS_CPA_JP/JA)

印刷日: 28.03.2025

ジメテナミド-P	19.7	第1種指定化学物質, 613	(S)-2-クロロ-N-(2,4-ジメチル-3-チエニル)-N-(2-メトキシ-1-メチルエチル)アセトアミド
2-メチルナフタレン	8.9	第1種指定化学物質, 438	メチルナフタレン
1-メチルナフタレン	5.6	第1種指定化学物質, 438	メチルナフタレン

その他の規則

人と環境に対するリスクを避けるために、用途に関する指示を遵守すること。

16. その他の情報

【JIS Z 7252/7253 : 2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報が無いことを示す。

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。